

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-7 1

学校名・団体名	木津川市立城山台小学校
HPアドレス	http://www.kizu.ed.jp/shiroyamadai-es/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	自然・人・社会とつながり 主体的に未来を創る児童の育成
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>1 研究の目的</p> <p>各教科・領域を横断的につなぎ、自然・人・社会とつながりを深め、外部講師や地域・保護者の協力を得て、学年に応じた「環境教育」を実践する。</p> <p>(1) 課題設定と学びがスパイラルにつながる「生活科・総合的な学習の時間」による探究的な学習力（論理的思考力）の向上</p> <p>(2) 他者と協働的に取り組む学習活動（体験活動）の充実により、児童相互が主体的に学び合い高め合う力の育成</p> <p>(3) 話し合い活動を中心とした言語活動の充実による、コミュニケーション能力の育成</p> <p>2 研究の方針</p> <p>(1) 教科横断的な思考スキルと思考ツールを活用した授業改革（城山台小式アクティブ・ラーニング型授業の確立）</p> <p>(2) タブレットと電子黒板を活用し、対話や議論を通じて他者と協働的に取り組む学習の充実</p> <p>(3) 体験や観察活動を重視し、思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の充実</p> <p>(4) ルーブリック（評価基準）を活用した評価方法の工夫と児童に付けたい力の検証</p>	

<活動・研究報告>

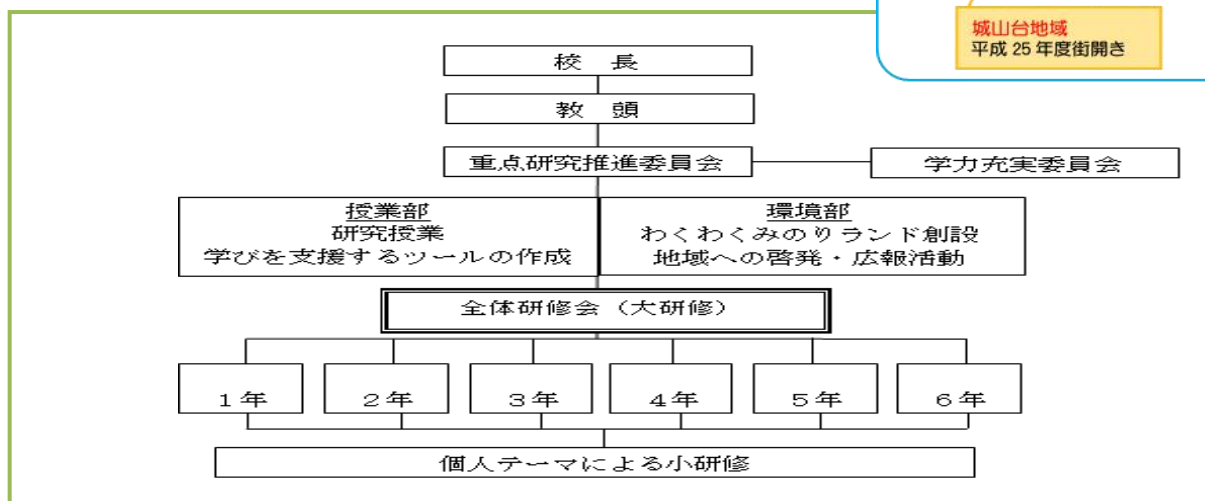
- 1 対象者 全学年 (320名)
- 2 教科・領域 生活科 (第1・2学年) 総合的な学習の時間 (第3～6学年)
- 3 活動時期 平成28年4月～平成29年3月
- 4 研究の概要

(1) 学校の概要

校区は大きく分けて、旧地域である鹿背山地域と新たに開発された城山台地域がある。開校前年に街開きをした城山台地域は、環境にやさしい「農の街(みのりのまち)」をコンセプトとし、現在、本校とタイアップした古紙回収の取組や自治会立ち上げの活動が進められている。また、旧村を含む鹿背山地域には、自然豊かな里山が残り、オオタカやカスミサンショウウオ等が生息している。近隣には、京都府立木津高等学校や今年度開園した京都大学研究農場があり、各施設や機関との連携の下、多様な取組を展開することが可能である。

本校ではこのような特色を生かし、「環境教育」を切り口に自然・人・社会とのつながりを深めることで、学力の向上を図るとともに他者と協働的に問題を解決していくために必要な資質・能力の育成を目指している。

(2) 研究体制



(3) 研究過程

- < 4月 > 理論研修「本校が目指す学力観」・研究主任による研究授業
- < 5月 > 研究授業(6年)・先進校視察
- < 6月 > 研究授業(4年・5年)・実技研「タブレット端末を活用した授業」:シャープ
- < 7月 > 理論研修「思考スキルの向上を目指した授業」
- < 8月 > テーマ研修報告・先進校視察伝達講習・指導案作成
- < 9月 > 研究授業(2年)
- < 10月 > 研究授業(1年・3年)・先進校視察
- < 11月 > 研究発表会(全学年公開・研究発表・研究協議・講演:関西大学 黒上晴夫氏)・先進校視察
- < 12月 > テーマ研修報告・先進校視察伝達講習
- < 1月 > 研究授業(1年)
- < 2月 > 児童アンケート等による検証・先進校視察
- < 3月 > 研究のまとめと来年度に向けての方向性確認



5 具体的取組

(1) 探究的な学びの展開

- ・生活科では、体験を重視しながら、気づきが学びにつながる単元構想を、また総合的な学習の時間では、児童主体の探究プロセスを想定した単元構想を組み立てた。
- ・みのりタイムの学習では、児童が課題意識をもち他人へ呼びかけたい内容について積極的に発信する場を設定した。
- ・みのりタイム系統表を作成し、他教科とのつながりや義務教育9年間の系統性を意識しながら授業を進めた。(カリキュラム・マネジメントの実践) ※みのりタイム=環境教育に関わる学習

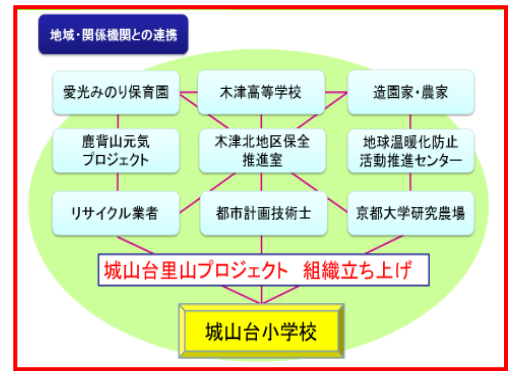
(2) 教科横断的な思考スキルと思考ツールの活用

- ・思考力の向上を目指し、関西大学総合情報学部教授、黒上晴夫先生に御指導いただき、「思考ツール」を活用した「思考スキル」の向上に取り組んだ。
- ・みのりタイムに限らず、各教科・領域の学習活動においても積極的に思考ツールを活用し、思考の深まりや話し合い活動の活性化を目指した。
- ・小学校6年間を通して系統的に取り上げる思考スキルを「比較する」「整理・分析する」「多面的に見る」「関連付ける」「構造化する(理由付ける)」「評価する」の6つに精選し、発達の段階に合わせた計画的な指導ができるよう、各学年の到達目標を明確にした系統表を作成し取り組んだ。



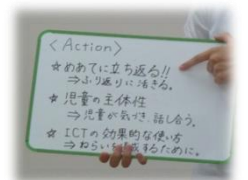
(3) 話し合い活動や体験活動の充実

- 協働学習では、一人学びの後、3人程度のグループで司会を立て議論させた。みんな学びの場面においては、順番に発表する形式をやめグループ間での対話を重視した。既習学習から問いを見出し、自己の考えを形成し、対話を通じて思考の再構築と創造に向かう深い学びを目指した。
- 児童が自分の意見をしっかりと伝えられるよう「話し合い名人シート」等、言語ツールを活用した授業改善を行った。
- アクティブ・ラーニングの視点に沿った、能動的かつ効果的な ICT 機器の活用方法を模索し、課題の可視化や学びの共有化を図ることに努めた。
- 地域住民や各関係機関とのつながりを深め、人との出会いから学ぶ体験活動を重視した授業を展開した。



(4) ルーブリックを活用した評価方法の工夫

- 単元におけるルーブリック（評価基準）と単位時間におけるルーブリックを作成し児童と共有することで主体的な学びの実現を目指した。
- メタ認知の育成をねらいとし、ルーブリックに基づく自己評価により学びを自分のものとして意味付ける活動を行った。



(5) 学び合う風土の醸成

- 全クラスにおいて、研究授業を実施し、研究テーマに基づいた検証を行った。事後研究会では、拡大指導案を使つてのブロック協議とワールドカフェ方式等を取り入れた全体討議を行い「次へのアクション」をキーワードとして明記し、発展的に進められるようにした。
- 重点教科、領域での研究と並行して学年の枠を超えた2・3名の教師がチームを組み、担当教科・領域を決めテーマ研修を行った。その成果と課題については全体研修会でレポート報告し、共通理解を図ることに努めた。

＜テーマ研修 実践例＞

- 「児童の気付きからはじまる観察カードの作成」(1年国語科)
- 「ふわふわことばランキング」(1年道徳)
- 「みんなが楽しめるにこにこルールを考えよう」(2年学級活動)
- 「店の魅力を伝えるキャッチコピーをつくらう」(3年社会科)

6 研究の成果と検証

(1) 児童にとって

- 児童の主体的な活動を重視し、探究的な学習を組み立てたことで、本校児童の課題であった主体性や意欲の面では伸びが見られた。
- 対話や話し合い活動を重視し、他者と協働的に問題を解決していく授業スタイルを確立し実践を積み上げたことで、既習事項を活用して問題を解決する力が向上してきた。
- 思考ツールの活用により、思考の可視化・操作化・共有化が可能となり、思考力の向上を図ることができた。
- ルーブリックを設定し、振り返りにおいて自己評価を行う活動を毎時間行っている。学習したことや付けた力、あるいはこれからの課題について一人一人が内省する時間となり、メタ認知の育成につながっている。
- 外部人材を活用した体験活動により、専門的な知識を得るだけでなく、ものの考え方や将来の夢について考える機会となり、人との出会いから学ぶ学習を実現することができた。キャリア教育の視点からも意味のある学習となった。
- 司会カードや話し合いルーブリックの設定等、言語活動を充実させる手立てを工夫したことにより、児童の話す・聞く力の向上が見られた。

(2) 教職員にとって

- 話し合い活動を取り入れた城山台小式授業スタンダードの確立や、思考ツールを活用した授業改善により、思考力の向上に向けて全教科・領域で取り組むことができるようになった。
- キャリアの違う教員がチームを組みテーマ研修に取り組んだことで、個々の教員の授業力の向上と若手教員の育成を図ることができた。
- 理論研修、実技研修、授業研究、先進校視察及び伝達講習を組み合わせ、体系的に研究を進めることができた。授業力の向上のみならず、「学び続ける教職員」としての意欲につながっている。

(3) 学校組織として

- 系統的に指導する思考スキルを精選し、到達目標を決めたことで、組織的に思考力の向上に取り組むことができるようになった。
- 開校3年目を迎える本校、一連の研究に向けての取組は新しい学校づくりの駆動力となり学び合う風土の醸成につながった。
- 地域住民や関係機関との連携が進み、里山と新開発地域との自然の循環を目的とした組織、「城山台里山プロジェクト協議会」を立ち上げる運びとなった。学校と協議会との連携は、地域創生と新開発地域の街づくりに貢献できるものと考えている。

※協議会メンバー：城山台小学校・城山台小学校 PTA・鹿背山元気プロジェクト・木津川市子どもエコクラブ・京都府立木津高等学校・京都府地球温暖化防止活動推進センター・木津川市木津北地区保全推進室・造園業者・地域住民代表

